日本歯科大學新聞

東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼編集人　中原　泉
発行日　偶数月末日
定　価　1部10円
編集室　（〒951-8580）
新潟市中央区浜浦町1-8
☎025（267）1500

小倉英夫 新潟生命歯学部長 名誉博士号をうく

姉妹校のタイ・マヒドン大学

本学新潟生命歯学部長の小倉英夫教授は、このたびタイ・マヒドン大学から名誉博士号を授与された。授与式には小倉歯学部長夫妻が招かれ、タイ王室の王女より学位記が手渡された。

日本歯科大学では、一九八八年にタイのマヒドン大学と姉妹校を締結し、長年にわたり両校で国際的な学術交流活動を行ってきた。一九九六年には中原泉学長が名誉博士号を授与されており、本学大学院ではマヒドン大学から留学生を受け入れている。

本学の歯学博士号を授与された大学院修了生たちは、タイの歯科医学研究者の中でも指導的な立場にある。小倉教授は本学の国際交流活動で中心的な役割をになっており、このたびの名誉博士号授与となった。授与式には小倉歯学部長夫妻とともに、新潟生命歯学部の石田八郎庶務部副部長（国際交流担当）が同行した。

本学の一行は七月一日タイのバンコク空港に到着。一夜あけた翌二日、マヒドン大学歯学部長はじめ、今まで本学へ来校したり留学した同大関係者や、今春の訪問学生ら約百人が列席し、小倉歯学部長による名誉博士号受賞記念講演が開催された。夜には記念パーティーが開催され、持参した国際交流の記念の楯が、小倉歯学部長からTheeralalsna Suddhathira マヒドン大学歯学部長に贈呈された。

三日目に「歯学博士」の象徴であるスミレ色のアカデミックガウンの授与式が行われた。小倉歯学部長が、マヒドン大学のPiyasakoi Sakolsatayador学長に、本学からの国際交流の記念楯を贈った。

いよいよ四日目の式当日、名誉博士学位記授与式は、市内の海軍コンベンションホールにおいて、マヒドン大学の二十二学部の卒業生と修士課程修了者への学位記授与式と併催で開式した。この日の式場にはマヒドン大学の新たな学士と修士五千二百余名のうち、約二千六百名と名誉博士号受領者九名が着席し、五人の高僧が入場する。読経がつづく中で学位記授与式が厳粛に開始された。タイ王室のMaha Chakri Sirindohorn王女から最初に名誉博士の栄えある学位記が一人ひとりに授与された。歯学部からの小倉歯学部長は王妃から名誉博士の学位記を手渡された。

名誉博士の学位記を手渡される小倉歯学部長

マヒドン大学の校章

四川大学 周口腔医学院長、新潟を訪問

本学の姉妹校である中国・成都市の四川大学華西口腔医学院長らが、新潟生命歯学部を訪れた。七月二十九日に来校したのは、華西口腔医学院（歯学部）の周学東院長と陳宇教授。日本における歯科医学教育の実情を視察するために来日した。

周院長たちは、中原学長の案内で医の博物館を見学したが、欧米の古医書や先人たちの業績が並ぶ展示室の資料に感嘆の声をあげた。

また、マルチメディア実習室では、本学が開発した最新の実習教育システムについて熱心に質問していた。

▲創立者銅像前で、左より影山教授、中原学長、一人おいて四川大学・周院長、陳教授、小倉歯学部長

教員表彰に両賞を創設

▼ベストレクチャー賞▲ ▼ベストティーチャー賞▲

本学では、優れた教員を表彰することを目的として、ベストレクチャー賞（09年度より）とベストティーチャー賞（11年度より）を創設した。

本年度から実施のレクチャー賞は、学生による教員評価の優秀者が対象。毎年度両学部から各三名表彰し、受賞者は学内に掲示する。

また再来年度から実施するベストティーチャー賞は、三年間の学生評価の合計点などの最優秀者を三年ごとに両学部各一名選考し、本学創立記念式典で表彰する。

辞令

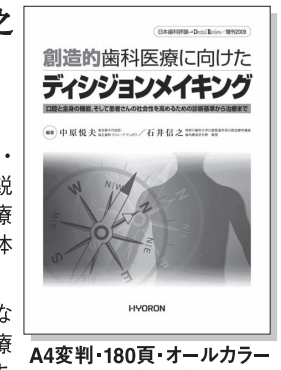
歯学博士　吉田　隆一
名誉教授の称号を授与する
平成二十一年九月一日
本学

准教授
歯学博士　宮坂　平
理学博士
教授に任命する（生命歯学部歯科理工学講座）

助教
博士（歯学）　井口　暁
講師を命ずる（附属病院矯正歯科・第92回卒・大学院生命歯学研究科修了）
平成二十一年十月一日
本学

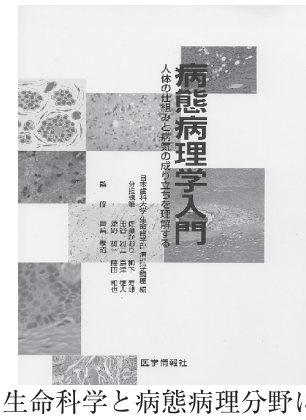
大学院生命歯学研究科の担当を命ずる（歯科理工学）
略歴・昭和50年3月東京理科大学理学部卒業、55年3月同大学院理学研究科修了。56年4月本学助手、平成元年4月講師を経て、17年4月助教授に就任。

最新刊！　日本歯科評論 増刊2009
創造的歯科医療に向けた
ディシジョンメイキング
口腔と全身の機能，そして患者さんの社会性を高めるための診断基準から治療まで
編著　中原悦夫・石井信之
主な執筆者　飯島国好・羽村 章　八重垣 健ほか
■本書は「インターディシプリナリ・アプローチ」を実践している気鋭の臨床家による，創造的歯科医療を実践するための考え方や具体的対応を提示しています．
■社会・経済的背景のさまざまな患者さんの希望に適った歯科医療の提供に十分お役立ていただけます．



A4変判・180頁・オールカラー
定価6,090円（税込）・〒340円
株式会社ヒョーロン・パブリッシャーズ
〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町15番地 神田TKMビル
Tel.03-3252-9261～4 Fax.03-3254-3876
http://www.hyoron.co.jp

病態病理学入門
人体の仕組みと病気の成り立ちを理解する



監修　青葉孝昭
編集　日本歯科大学 生命歯学部 病理学講座
生命科学と病態病理分野に関する基本的な理解ができるよう、視覚的に生体の仕組みを捉え、病気の成り立ちを理解しやすいように、カラーでイラスト図版と組織画像を用いて解説。
◎ A4判　122頁　カラー　◎ 定価：7,350円
医学情報社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-4-6
TEL03-5684-6811 FAX03-5684-6812

第22回 姉妹校交換学生

今年は７名派遣・７名受入れ、総計313名に

日本歯科大学の姉妹校交換学生制度は、国際性豊かな広い視野をもつ医療人を育成することを目的とし、一九八六年（昭和六十一年）より行われている本学独自の教育プログラムである。この交流は本学八十周年の年にアメリカ合衆国・ミシガン大学への派遣から始まった。今回で二十二回となる。交換学生の受け入れと派遣人数は、総計三一三名となった。今年は、春には選抜された本学五年生六名がカナダ・ブリティシュコロンビア大学（ＵＢＣ）とアメリカ合衆国・ワシントン州立大学（ＵＷ）を訪問し、夏にはＵＢＣからの訪問を受け入れた。文化も歯科事情も異なる両国の学生が、相互の大学で研修し親睦を深めている。

本学の一行は成田空港を出発し、三月七日にアメリカ合衆国北西部に位置するシアトル空港に到着。「ＩＣＨＩＲＯ」のマリナーズが本拠地を置くシアトルにワシントン州立大学（ＵＷ）がある。ＵＷは全米屈指の歯学部を有し、ＩＵＳＯＨ加盟校ではないが本学との関係は深く、ＵＢＣ訪問の際には必ず立ち寄っている。今回は十五年もの長きにわたる厚意に敬意を表し、本学からＵＷへ記念の楯を、また尽力いただいているSomerman歯学部長に対し中原理事長・学長より記念の置時計が贈られた。ＵＷでは各診療科の担当者から学生教育の説明を受け病院内を見学した後、日米の歯科事情について話し合う機会を得た。

三月十日、空路バンクーバーに移動。シアトルからバンクーバーまでは、わずか五十分足らずのフライトである。空港ではＵＢＣ担当教員と交換学生の出迎えを受け、その晩は学生宅にて歓迎会となった。翌日より病院での臨床実習や講義、グループワークに参加した。臨床実習の場である歯科病院は、コルゲートの支援のもと三年前に全面的に改装され、最新鋭の歯科器材が導入されていた。研修の合間には、二〇一〇年冬季オリンピックが開催されるウィスラーでスキーを楽しんだり、天皇陛下の思い出の地でもあるブリティシュコロンビアの州都ビクトリア観光などに出かけたりとカナダを満喫することができた。約二週間の日程を終え、三月二十一日無事帰国した。

次いで四ヶ月後の七月二十七日、ＵＢＣメンバー一行は東京に到着。東京と新潟において約一週間ずつ滞在した。両学部では学内の施設や病院各科を熱心に見学し、また本学学生と共に日光や新潟祭りなどに参加した。八月十日、カナダへの帰路についた。

〈交換学生に同行して〉

出発前にはコミュニケーションに不安を抱く学生もいたが、ＵＢＣの学生とすぐに打ち解けあい、日に日に英語が上達していた。バンクーバー滞在中は、私も含め学生は各々のパートナー宅にホームステイし、寝食を共にすることで、カナダの生活を満喫し固い友情で結ばれたと思う。この機会が参加した学生にとり、かけがえのない財産になったと確信している（同行教員・水谷太尊）

〈本学交換学生の感想〉

●この交換学生プログラムで、異文化を通じて、人として、また歯科医を志す者として人生の大きなステップアップになりました（白子要一）

●互いに特別な存在となることができ、また世界にいる同じ目標を持つ仲間の存在に鼓舞されました（和田郁美）

●文化の違いを肌で感じる事ができ、この経験を今後に生かしていきたいと思います（湯川慎太郎）

●最高の時間を皆で分かちあえ幸せでした。支えて下さった方々に感謝です（横石智哉）

●これから歯科を学んでいく上で、大きな経験となりました（大網淳子）

●海外で頑張っている先輩のきっかけはこれか！よかったです（小林正知）

ＵＷのSomerman歯学部長を表敬訪問

日光江戸村、ケッコウな眺めでゴザルな！

中原学長から日本の歯科事情を聞くＵＢＣ

冬季オリンピック開催地のウィスラーにて

コイル先生宅でのランチョン・パーティー

全員集合、新潟生命歯学部でのウェルカム・パーティー

浅草雷門の前で、日本の古～い文化を満喫

ＵＢＣで最新の歯科臨床を研修する

新潟祭り、天地人“愛”のヘアバンドで

歯学部で開かれたＵＢＣ歯学部長主催の昼食会

バンクーバー空港でＵＢＣメンバーの出迎え

交換学生

二〇〇九年度姉妹校交換学生は次の通り。

（日本歯科大学）

生命歯学部　大網　淳子
白子　要一
湯川慎太郎

新潟生命歯学部　小林　正知
横石　智哉
和田　郁美

（ブリティシュ・コロンビア大学）

Ms. Janice Doung
Ms. Jordan Gerster
Ms. Mehrnoush Hashemi
Ms. Ray Kang
Mr. Jan Kantoch
Mr. Mehdi Oonchi

（同行教員）

水谷太尊准教授（新潟病院口腔外科）
Dr. Jeffrey M. Coil (Certified Specialist in Endodontics Department of Oral Biological and Medical Sciences)